

令和４年度 都城市立上長飯小学校 学校評価報告書

評価 ４：期待以上 ３：ほぼ期待どおり ２：やや期待を下回る １：改善を要する

【学校経営ビジョン】子どもに「今日も学校に来てよかった！」と感じさせる学校・学級経営～よき伝統の継承・学校内共通の壁の確立・子どもの後ろに保護者を感じる風土の醸成・ATM Mindの尊重								
重点目標		評価項目		自己評価コメント	総合評価	改善及び対策	学校関係者評価コメント	評価
豊かな心の育成	1	他学年へのよい相互影響	チャイム中の静止、一列歩行については徹底ができていますが、無言移動、会釈が十分ではない。靴箱の靴がきちんと並べられている。 「チャイム黙想での授業開始」：職96.9%		3	全職員で共通理解・共通実践を行うとともに、昼の放送や全校朝会で生徒指導主事がその都度指導する。	○チャイム黙想が徹底されている。 ○靴箱の靴はいつもきれいに並んでいる。 ●無言移動が徹底されているが、来校者へのあいさつや会釈があるとよい。	3.5
	2	地域へのよい影響	5・6年生が主体的に朝のあいさつ運動を行った結果、以前よりも大きな声であいさつができるようになってきたが、さらに継続して取り組む必要がある。「あいさつや会釈」職62.5%「進んであいさつ」児：89.6%保：71.9%		3	高学年児童によるあいさつ運動を継続するとともに、全職員による現場指導を徹底する。	○登校の際、停車した車に対しての一礼が継続されており、高学年からの継承がなされている。 ○職員が率先してあいさつをする姿は、見ていて心が洗われる。まずは、手本を示し、やらせて褒めることが大切である。 ●朝のあいさつや会釈が地域の方には少し足りない気がする。 ●子どもたちが主体的に行うボランティア活動を計画的に継続して行ってほしい。	2.8
	3	学校全体を守る	問題発生時の管理職への報告・連絡・相談の徹底により、保護者、関係機関と連携して早期に対応することができた。不登校についても組織的に対応することができた。「報告・連絡・相談などの連絡体制」職96.9%		4	事案の大小にかかわらず、丁寧かつ迅速に対応していく。事後の見届けも確実に行う。	○迅速な対応は保護者の学校に対する信頼にもつながる。今後も継続してほしい。	3.7
	4	授業を守る	学習訓練の徹底と複数教員の指導により、どの学年も落ち着いて学習に取り組むことができた。 「指導が通らない児童への生徒指導体制」職：93.7%		4	立腰指導を含む学習訓練をさらに徹底するとともに、複数教員での見届けを確実に行う。	○大変よい結果が出ている。今後も継続してほしい。	4.0
	5	保護者の信頼を守る	保護者からの問い合わせや要望については、校内で協議し、速やかに対応することができた。必要に応じて、全保護者に周知した。「保護者、関係機関との連携で適切な対応」職：93.5%		4	保護者からの問い合わせや要望には誠実に対応し、学校の説明責任を果たす。また、学校の取組をホームページ等で積極的に発信していく。	○学校ホームページも毎日更新され、学校の様子が大変よく分かる。 ○大変よい結果が出ている。保護者の信頼をさらに得るために、今後も継続してほしい。	4.0
	6	子どもの生き甲斐を守る	都城市版デジタルキャリアパスポート「おいろぐ」の導入に向けた準備を計画的に進めている。 「計画的なキャリア教育の推進」職：82.8%		3	「おいろぐ」について職員研修を行うとともに、その活用を計画的に行っていく。	●「おいろぐ」について、もう少し詳しく説明があるとよい。 ●地域人材の活用についても提案したい。	3.0
学力向上	1	学習指導法の改善	県が示している「授業改善の4＋4のチェックポイント」に基づいた授業実践を継続して行った。また、職員研修や支援訪問で研究授業を行い、学習指導についての研修を全職員で行った。 「分かる・できる授業づくりの実践」職：90.3%「授業が分かる」児：96.5%保：88.2%		4	授業中及び週末の課題の1つとしてキュービナを活用して習熟を図り、学力向上につなげる。 「授業改善の4＋4のチェックポイント」をさらに意識させ、日々の授業の質の向上を図る。	○児童のアンケート結果が高いのは大変評価できる。	4.0
	2	I C T教育の充実と研修推進	各学年の発達段階に応じて、昨年度よりさらに授業やカーミータイムでのタブレットの活用を図っている。 「研修が教育実践に活かされている」職：93.6%		4	さらに研修を進め、授業実践で出てきた課題を改善していく。	○タブレットの積極的な活用が図られている。今後のI C T教育に期待する。	4.0
たくましい体	1	体育指導の充実	本年度も体育の活動や家庭での外出に制限がかかり、十分な運動時間を確保することができなかった。「体育学習の工夫を中心とした体力向上」職：73.4%「体育以外の体力向上」児：86.7%		3	感染症対策及び熱中症対策を十分とり、1単位時間の運動量の確保に努める。児童に自分の体力に関心をもたせ、運動への意欲付けを図る。	○コロナ禍で制限がある中、先生方が工夫して指導されたおかげで、素晴らしい運動会となった。 ●持久走や縄跳び、外遊びなど、体力向上につながる取組を工夫して指導してもらいたい。	3.3
	2	校外スポーツと連携	各少年団とも新型コロナウイルス感染対策をしながら活動し、各種大会で表彰を受けた。児童の体力向上に寄与している。		3	各少年団の活躍をホームページや全校朝会等で称賛し、意欲付けを図る。	○学校ホームページから活動の様子がよく分かる。 ●子どもたちのがんばる姿がホームページ以外でも見られるとよい。地域の方にもっと周知できるとよい。	3.0

